

2. 臨床心理学領域における修了要件

◆臨床心理学領域における開講科目

区分	開講科目	単位	配当回生	臨床心理士資格認定協会が定める科目名	取得単位数
必修 【22】	臨床心理学特論Ⅰ	2	1以上	臨床心理学特論（4単位）	必修 【16】
	臨床心理学特論Ⅱ	2	1以上		
	臨床心理学基礎実習	2	1	臨床心理学基礎演習（2単位）	
	臨床心理実習	2	2	臨床心理実習（2単位）	
	臨床心理査定演習Ⅰ	2	1以上	臨床心理査定演習（4単位）	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2	1以上		
	臨床心理面接特論Ⅰ	2	1以上	臨床心理面接 （心理療法・カウンセリング）特論 （4単位）	
	臨床心理面接特論Ⅱ	2	1以上		
	臨床心理学特別演習	2	2		
	応用人間科学基礎演習	2	1		
	応用人間科学基礎研究	2	1		
	選択必修	臨床心理学演習Ⅰ	2	1	
臨床心理学演習Ⅱ		2	1		
臨床心理学演習Ⅲ		2	2		
心理学統計法研究		2	1以上		
発達心理学特論		2	1以上	B群 発達心理学特論 教育心理学特論 認知心理学特論	
教育心理学特論		2	1以上		
認知心理学特論		2	1以上		
社会病理学特論		2	1以上	C群 社会病理学特論 家族心理研究	
家族心理研究		2	1以上		
精神医学研究		2	1以上	D群 精神医学研究 老年心理研究	
老年心理研究		2	1以上		
学校臨床心理学研究		2	1以上	E群 学校臨床心理学研究 グループ・アプローチ研究 心理療法特論 臨床心理地域援助特論Ⅰ 臨床心理地域援助特論Ⅱ	
グループ・アプローチ研究		2	1以上		
心理療法特論		2	1以上		
臨床心理地域援助特論Ⅰ		2	1以上		
臨床心理地域援助特論Ⅱ		2	2以上		
単位互換履修科目	1～4		※ 認定科目として他の大学院での修得単位として扱う。		
自由	大学院コーオプ演習	2	1以上	※ 修了に必要な単位としては含まれない。	

- ① 臨床心理学領域において開設する科目から必修科目をふくめて32単位以上履修し、かつ修士論文の審査に合格すれば、修士（人間科学）の学位を得ることができます。修士論文は臨床心理学に関する内容とし、臨床心理士資格を有する教員が、主査（場合によっては副査）となり指導します。
- ② 臨床心理学領域を修了と同時に臨床心理士の受験資格を得るためには、修了までに定められた科目（「VI. 資格について」参照）を履修しなければなりません。これらの科目は①に規定する32単位に含めることができます。また、必修科目群をとおして、職業倫理の基本、援助の理念と思想、的確な援助技法を学び、研究科付属の心理・教育相談センター、病院など学外機関での臨床実習を行います。
- ③ 他の大学院（外国の大学院を含む）および他の研究科において修得した単位は、10単位をこえない範囲で①に規定する32単位に含めることができます。
- ④ 対人援助学領域において開設する科目を2科目4単位以内に限り、③に規定する10単位に含めることができます。ただし、臨床心理学領域の学生は「対人援助実習」「対人援助学特別演習」を履修することはできません。

他領域科目は4単位までが要修了単位として認定されます。